



Laurus

の翼

令和7年1月9日(木)

【第20号】

文責 校長 高宮 裕

新年明けましておめでとうございます 今年もよろしくおねがいします！

令和7年へび年。いよいよスタートしました。学校には、子どもたちの元気な声が帰ってきました。子どもたちの笑顔を見ることができ、安心しました。冬休みの間、健康で安全に過ごしていただき、感謝申し上げます。3学期は49日間と短い期間です。その中に、子どもたちが活躍する場がたくさんあります。一人一人の子どもたちが思う存分輝けるよう、全職員で励んでいきますので、引き続きご理解とご協力のほど、よろしくお祈りします。

インフルエンザ・マイコプラズマ 大流行の兆しが・・・

年末、年明けに体調を崩された方がたくさんいたという話を聞きました。子どもの感染だけではなく、大人も長引く咳や高熱に悩まされた方がいたのではないのでしょうか。3学期がスタートして、子どもたちの感染状況は落ち着いていますが、今後どのようなようになるかは予想が付きません。

毎日、養護教諭が欠席状況を把握し、職員内では感染状況を共有しています。これから、万が一学級閉鎖が発生した場合には、保護者の方々にも校内の感染状況の情報を提供していく予定です。

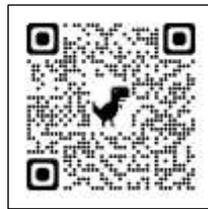
学年の感染状況をモバイル明健で発信しますので、職場と連携し子どもの療養にご活用ください。



学ぶということを考える

3学期に入ると、学年のまとめの時期になります。今の学年で身に付けるものは、今のうちにきちんと身に付ける。学校でできることと同時に、家庭学習で補うことも大切です。しかしながら、一番身につけたいのは「学ぼうとする意欲」です。これからの学力では「探究していく力」つまり自分で課題を見だし、その解決に向けて追究していく意欲が求められます。高

校では、探究の時間に力を入れる学校が増えてきました。探究活動の取り組みがクローズアップされ、「Q-1」というプレゼンテーションの大会も開催されています。大学入試も、学力基調の入試から、AO入試や実績をもとにした推薦へと入試体系が変わってきています。入試のための勉強ではなく、将来の自分につながるために子どもたちに身に付けさせたいのは、学びを支える基礎学力だけではなく、それを展開する活用力や探究心の育成ではないでしょうか。大切なのは、子どもたちの興味関心がどう高まるかということになります。「学ばされる」から「学びたい」に変わることを。これからの学びは、学びたい意欲の高揚につながっていきます。



Q-1 未来を変える研究発表



るかということになります。「学ばされる」から「学びたい」に変わることを。これからの学びは、学びたい意欲の高揚につながっていきます。

子どもの体力を考える

最近の新聞で、子どもたちの体力の低下が記事になっていました。コロナ禍が明け、通常の生活環境に戻った中で子どもの体力が低下しているとのこと。本校では、毎年、体力向上プランを作成しています。本校の課題は持久力と敏捷性。マラソン大会やなわとびはとっても大切な活動なのです。また、外遊びも勧めています。本校の子どもたちは校庭で遊ぶことが大好き。ご家庭でも、ぜひ公園で子どもと一緒に遊んでみてください。また、地域のイベントに参加してみてください。遊びを通してたくましくなる子どもがたくさん育つことを願っています。



始業式のお話から

今年はへび年です。へびは、体が大きくなると脱皮します。脱皮した皮には、たくさんの傷がついています。ぶつけたり割られたりした傷。でも、脱皮をすることで新しい自分に生まれ変わり、またがんばります。みんなも同じなのかなと思います。うまくいかなかったことも失敗したこともたくさんあるけど「まあいいか」って思って新しい気持ちでがんばる。3学期も失敗しても「まあいいか」って思ってがんばってください。